

令和2年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493200057	事業の開始年月日	平成18年11月1日
		指定年月日	平成18年11月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホーム みんなの家・横浜上白根		
所在地	(〒) 241-0001 神奈川県横浜市旭区上白根町977-3		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年11月11日	評価結果 市町村受理日	令和3年8月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

コロナ禍にあり、散歩や外出支援が行えていませんが、ホーム内でのレクリエーションに力をおいている。お誕生日会やおやつ作り行事を設け、刃物を使える利用者様には材料を切ったり、焼き物の出来る人に焼いて頂いたり付き添いながら作って頂いてます。またその他の方々にはデコレーション（出来栄はともかく）に全員参加して頂いての行事にしています。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下ビル9階		
訪問調査日	令和2年11月24日	評価機関 評価決定日	令和2年12月30日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

**【事業所の概要】**  
この事業所はJR横浜線や市営地下鉄の「中山駅」、相鉄線「鶴ヶ峰駅」からバスを利用し、バス停「横浜旭陵高校坂下」から徒歩7分程度の所にあり、近くに「白根大池公園」がある。周りは緑の多い丘陵になっている。建物は鉄骨造り2階建て、2ユニットのグループホームである。庭には花木が植えられ季節の変化を感じられる環境である。

**【終末期のケアと看取り対応】**  
契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」と「看取り介護指針」の説明を行い、どのような終末期を望むかの確認をしている。その時点での意向に沿った同意書を作成しているが、改めて終末期であるとの医師の診断が出た時点で、医師と家族と事業所職員が参加してサービス担当者会議を開き、医師からの説明を受けた後、再度意向の確認をしている。  
終末期には看取り介護計画を作成し、住み慣れた場所で穏やかに最期を迎えられるように支援している。職員は「看取り介護マニュアル」を基に研修をし、看取りに対する知識と技術の習得をして、看取りを行っている。

**【事業所での生活の充実のための多様な取り組み】**  
新型コロナウイルスによる自粛の前までは2か月ごとに腹話術のボランティアが来て交流したり中学生の職業体験を受け入れていた。クリスマスにはゴスペルを合唱するグループの来訪もあった。  
隣がオーナーの住まいで春にはオーナー宅の桜の花を庭越しに楽しめた。事業所の庭には山茶花やきんもくせい咲き季節の移り変わりを楽しんでいる。  
現在は外出のイベントができないので事業所内でのレクリエーションを企画している。利用者とおやつづくりをしたり、誕生日のケーキとしてホットケーキを重ねてデコレーションをして皆で祝っている。利用者と庭のキンカンをみんなでキンカンのはちみつ漬けも作った。脳と体を同時に使う「NOA体操」を毎日行っている。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム みんなの家・横浜上白根
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる活動的なホーム」に沿って利用者様の心に寄り添い笑顔になれるよう努力をしています。	理念は8年ほど前に職員で話し合っって作成した。「笑顔あふれる活動的なサービスと必要なサービスの提供」を掲げて日々実践をしている。理念は玄関に掲示して誰もが目にできるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に参加して頂き地域の情報・ホームの情報等、意見交換をしています。  (コロナ禍にあり休止中)	上白根町内会に入り回覧板が回ってきており、地域の情報を得ている。昨年のクリスマス会にゴスペルを合唱してくれるグループが来てくれた。腹話術のボランティアも2か月ごとに来ていたが新型コロナ感染予防のため今は中止している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献の目的として他施設と共同し「福祉ファエスタ」に参加しています。またグループホームの紹介やパンフレットを置き知って頂く一環でもあります。  (コロナ禍にあり今年は中止)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回地域の方、地域包括センター・民生委員に参加して頂き活動報告し要望・助言を頂いております。  (コロナ禍にあり休止中)	今年の1月までは2か月ごとに開催していたが、その後は、新型コロナの感染予防のため開催していない。運営推進会議の委員は民生委員、老人会から2人、地域包括支援センター職員、オーナー、管理者、ホーム長、法人マネージャーで家族の参加がまだない。	運営推進会議は、おおむね2か月に1回以上、年6回の開催と報告書の提出をすることになっています。新型コロナの対応策として書面での開催が認められています。家族にも運営推進会議に参加してもらい、定期的な開催をされることを望みます。

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護課の方の訪問や窓口に出向き、ご相談等行って居ます。	運営推進会議の報告書は高齢支援課に郵送している。生活保護課の職員が必要に応じて来訪している。地域包括支援センター主催で2か月ごとに開催している「地域会議」に参加していた。福祉フェスタには職員が手伝いをし、事業所のパンフレットを置かせてもらった。	
---	---	--	-------------------------------	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2ヶ月に1回「身体拘束委員会」を設け、資料・チェック項目等を基に意識の向上を図っています。危険回避の為に一時的な施錠を余儀なくされる時もありますが、検討し解除に向けています。	「身体拘束禁止のための指針」を作成している。指針を基に研修をしている。隔月で「身体拘束廃止委員会」と「虐待防止委員会」を開催して協議をしている。1階のユニットドアと玄関は職員が2人体制の時間は開けている。2階ユニットドアは離設願望のある方が居るために閉めているが、利用者の様子を見守り、出たいときには職員が付き添っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	2ヶ月に1回「虐待防止委員会」を設け、資料・チェック項目等を基に意識の向上を図っています。また毎日「身体チェック表」を作成し外傷の有無を明らかにし職員間で情報の共有をしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を開くなど、職員は意識を持って自己啓発に努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に事前に契約書のサンプルを送付し目を通して頂き、契約時に於いて再度説明し質問を受ける等理解を得て頂いています。		

10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映          利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者様のご要望や、ご家族のご意向を、面会時・家族会等で伺っています。          会社には「お客様相談窓口」もあり意見を頂き反映しています。</p>	<p>家族会はクリスマス会と併せて開催している。去年は3人の参加があった。普段の連絡時にも意見や要望があれば聞いている。毎月利用者の様子を知らせる「一言通信」にも「要望などあったらお聞かせください」と明記している。</p>	
----	---	--	---	---	--

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の「F会議」「全体会議」の場で意見交換し、より良い運営を目指し話し合っています。	毎月全体会議を開き、意見を出し協議している。クリスマス会の企画で、仮装やゲームの提案が職員から出て実施した。フロア会議も毎月あり、カンファレンスを開いて意見交換をしている。申し送りノートがあり、日々の情報を共有している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の希望を受け入れシフト作成も考慮しています。休憩時間も状況判断で声を掛け合い行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内にはスキルアップ研修・資格取得制度もあり事業所職員も大半が「介護福祉士」を取得しています。 (コロナ禍で休止中)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	2ヶ月毎に行われる「地域施設連絡会」に参加し他の施設との意見交換や情報交換を行っています。 (コロナ禍で休止中)		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様の気持ちに寄り添い傾聴し、寂しい不安を取り除きホームでの生活が出来るよう、また職員との信頼関係が築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	コミュニケーションをとり、ために情報を伝え安心して頂けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	調査時にグループホームでのサービスについてご理解を得て頂いていますが、提供できないサービスを望まれる場合は実費も含め対応に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の「出来る事・出来ない事」を見極めながら家事の中で一緒に行うよう努めています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の「一言通信」で「行事」の協力やお誘いを行い、ホームとご家族共に利用者様を支えられる機会を提供しています。 (コロナ禍にあり休止中)		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所の方やお友達だった方からご連絡があった時は、ご家族に確認を取り面会に来て頂いています。 (コロナ禍にあり休止中)	昨年は友人が来訪し居室で歓談をしていたが、2月以降は新型コロナウイルス感染防止のため来所できなくなっている。電話の取次ぎや、手紙や年賀状の投函をし、知人との関係の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクレーションや家事全般、「出来る事」を一緒に行いコミュニケーションを持つ機会作っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	やむなく入院や退居される時には「介護連絡票」を提供したり口頭での情報提供をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉にならない利用者様や、想いを伝える事の苦手な利用者様には、表情や仕草から意向を汲み取り支援をしています。またご家族から情報を提供して頂いています。	日々の談笑の様子や1対1での会話の中から思いや意向を把握して記録している。家族からも聞き取りをしている。言葉で伝えることが困難な方は表情や様子を観察して本人本位に対応をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴・趣味・性格等ご家族から提供して頂き把握し、日常生活に生かせるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	健康状態や日々の変化等はノートや口頭送りで共有し現状把握に努めています。その方の持つ力の維持、また発見を見逃さないよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様の変化や必要時等、随時カンファレンスをし話し合うようにしています。暫定で施行し様子を見、継続必要の結果で介護計画に入れています。家族の意向も伺い反映させています	入居時に作成した介護計画は1ヶ月で見直している。長期目標は6ヶ月ごと、短期目標は3ヶ月ごとに見直している。変化のある時には随時見直している。カンファレンスでモニタリング表を確認し意見を出し合っている。往診時の医師の意見も計画に反映させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートに記録を残し、共有しています。急を必要とするものには臨時カンファを行い改善を講じ良き発見をした場合は維持すべく情報を共有しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出・外食・ボランティアさんの協力等、思うようにならない昨今ですが、ホーム内での楽しみ方を工夫しおやつ作りやゲーム等行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の利用もコロナ禍にあり、ホーム内でも出来る事を工夫しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医として内科・歯科（月2回）には入居時同意をえていますが、ご家族様希望により他の医療機関を継続されている方もいます。ご家族様の都合により通院同行不可の時には、職員が変わってお連れする時もあります。	協力医療機関の医師が月2回往診をしている。医師の処方箋をもとに薬剤師から薬が届き、薬の特性や使い方の説明を受けている。専門科への受診は家族対応で行い報告内容を受診記録に記入している。歯科医は月2回往診している。歯科衛生士も月2回来て口腔ケアをしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回「医療連携看護師」の来所時には情報提供し診て頂いています。また 必要に応じ「訪問看護」として毎日の看護にあたって頂く事もあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中には主治医・相談員と面会し経過情報を頂いたり、退院に向け利用者様を把握する等しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連携を図りつつ「看取り」「終末期」を迎えるにあたりご家族と話し合いを持ち方針を共有しています。職員とも話し合い主治医との連携を密にチームで取り組んでいます。	契約時に「看取り介護指針」を説明している。終末期を迎えた場合は、医師と家族と管理者で意向の再確認と今後の対応について話し合い、同意書を作成している。本年度1人を看取った。医師とは24時間連絡できる体制になっている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様の身体状態の急変・事故発生時に備え、いち早くの発見と医療機関の指示を受けるようにしています。心肺蘇生・AED訓練を受けています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な消防立ち入り避難訓練・初期消火訓練を受けています。3日分程度の備蓄や物品・飲料水等備蓄しています。	今年の2月にオーナー（民生委員）立ち会いのもと、夜間の火災を想定した自主訓練を実施した。次回は来年3月を予定している。利用者18人の水と食品を備蓄し、米は50キロをローリングストックしている。カセットコンロなどの備品もある。家具の転倒防止はまだしていない。	地震対策の訓練も取り入れ、備蓄は職員の人数分も合わせた量を確保することを期待します。また、冷蔵庫などの家電や事務所内キャビネットなどの転倒防止対策に取り組まれることを期待します。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	重度化や排泄困難者が増える中排泄時に付き添う事も多く徹底したプライバシーの確保は難しいが、ノックをして訪室や、言葉遣いに注意をしています。	個人情報を含む書類は鍵のかかるキャビネットで保管している。会議資料の個人名はイニシャルで記入している。脱衣室はドアの中にカーテンもつけている。職員はスピーチロックについての研修を受けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示の出来ない利用者様の表情や発信を見逃さない様になっています。家事への参加も必ず伺いながら「いいよ」と答えを頂いてから行ってもらっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご自分のペースで動ける方には自由に過ごして頂いています。ご本人の意思決定で生活家事にも参加して頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好きな洋服や、パジャマを選んで頂く方もいます。選べない方も少なくありませんが同じ服にならないよう工夫しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の食器拭きやお盆拭き等片付けをして頂いています。おやつ作りや材料を切ったり準備に参加して頂いています。	本部の栄養士が作成した献立に合わせて食材業者から1日おきに食材が届き、調理担当の職員が1階の台所で全員分の調理をしている。おやつは利用者と一緒に手作りすることもある。食材を止めて出前を楽しむこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量・食事量は毎食記入し把握しています。主治医に相談の上必要な方には栄養ドリンクを補足したり減量の必要な方には何を少なくするか等指示を受けるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人の有する力を生かし最初にご自分で磨いて頂いています磨き残しや歯間ブラシ・舌苔の磨き等仕上げは職員が行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンやシグナルを掴み、さりげなく声掛けをしトイレにお誘いをしています。また定期的なカンファレンスで状態の把握をしています。	利用者の排泄パターンや時間を見て声をかけ、トイレ誘導をして自立排泄ができるように支援している。尿意を感じる利用者は自分のリズムでトイレに行き、職員はその結果を生活記録に記載している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録をとり感覚の把握や水分補給等行って居ます。また個別に排便を促す工夫も行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	個別の入浴日を決めていますが、あくまで目安で「今日は入らない」と仰る要望があれば無理強いはしません利用者ペースを優先しています。	週2回午後からの入浴を基本にしているが、利用者のペースを尊重して対応している。1階にリフト浴があり要介護度の高くなった2階の利用者が3名利用している。1階の浴槽は深く、跨ぐ事が難しいので浴槽への移動は、全員リフトを使用している。季節のゆず湯や菖蒲湯も楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様本位のペースで日中も自由に休まれています。夜間の睡眠の妨げにならない程度でお声掛けするようにしています。夜間の入床時も眠くなるまでリビングで過ごされる方もいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師・薬剤師と連携し、服薬指導を受け、相談をしながら支援をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器吹きやお盆拭き等その方にあつた物をお手伝いして頂いています。縫物をされる方もいてボタン付けや綻びを縫って頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍にあり外出は出来ませんが日光浴はしています。	玄関先のベンチや1階のテラス、2階のベランダなどで外気浴をしている。昨年は家族と大晦日の年越しそばを食べに行ったり、お墓参りに出かける方もいたが、2月ごろから外出は自粛している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出の機会が無く現状は出来ていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	学生時代のお友達からお電話を頂いた時にはお話をしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはソファも設置し自由に座って頂いています。TVをみたりお気に入りの歌謡ショー（DVD）を観たり一緒に歌をうたわれたりされています。	リビングはエアコンや加湿器で空調管理をしている。壁には季節ごとの貼り絵を飾り、季節感を取り入れている。この時期は庭に咲いた山茶花を活けている。ソファも配置してくつろげるように配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングが共用部分であり、会話ができる者同士笑って話されている光景もあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真やお孫様の写真・TVを置きお部屋で楽しまれる方もいます。中にはご主人のお仏壇も置かれている方もいます。	居室にはエアコン、照明、クローゼット、ベッド、洗面台などが設置されている。利用者は使い慣れた家具やテレビ、写真、仏壇などを置き好みに合わせた部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	認知も重度化し今は危険なためリスクを考慮し排除しています。ただレクリエーションの機会を設け職員の見守り重視でおやつ作りを利用し材料を切ったり焼く物をして頂いています。		



事業所名	GHみんなの家横浜上白根
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔あふれる活動的なホーム」に沿って利用者様の心に寄り添い笑顔になれる様に努力し実践しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	職業体験を受け入れ、年2回中学生を受け入れてます。 (コロナ渦で受け入れを中止しています)		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域貢献の目的として他施設と共同で「福祉ファエスタ」に参加しています。 (今年度はコロナ渦で中止)		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回地域包括支援センター、民生委員に参加して頂き活動報告し要望、助言を頂いております。 (コロナ渦で中止)		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護課の方が定期的に面会、電話にて相談などしてます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束委員会を行い、資料、事例検討、研修などを行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	定期的に高齢者虐待防止委員会を行い、チェックリストを使い防止、認識に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全体会議で話し合いを行ってま		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にご家族様に契約書、パンフレットを送付、目を通して頂き、契約当日に改めて説明を行い、納得を頂いてから契約を行ってま		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、家族会などで意見、ご要望を伺っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議などで意見、提案など機会がある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	シフト作りについては、職員個々から希望休を確認し反映、作成しています。 休憩時間も決めず声を掛け合い取り合ってます。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内にはスキルアップ研修、資格取得制度もあります。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域施設連絡会に参加し他施設との意見交換、情報交換を行っています。 (コロナ渦の為休止中)		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	意思疎通の出来ないご利用者様など、ご家族様が分かる範囲でお話頂き寄り添って傾聴に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時などにご家族様とお会いし意向、要望を聞き今後に繋げる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様の要望があるときに介護保険以外で提供できるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様一人一人にたいしてできる事、出来ない事を見極めながら行っております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月のお手紙にて、行事のご案内を送付し参加できるようにしている。 (コロナ渦で休止中)		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達、ご近所の方からご連絡があった場合はご家族様に確認し行ってあります。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様と一緒に体操、レクなどで交流、お話ができるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様と相談しご希望などを聞き対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向は現状を把握し、重度のご利用者様が多い中ご家族様を含め検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常生活に生かせるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録、申し送り、口頭申し送りなどで、利用者様状態を見逃さない様にしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い、プランの見直し、評価を行い介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートで情報共有をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常レクを色々考え楽しめるものを考えてます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で地域での活動が出来てない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月二回内科往診に来て頂いてます。 またご家族様希望により他の病院に通院されている方もいます。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に一回「医療連携看護師」があり、その際には情報提供し診て頂いてます。 訪問看護として入って頂いてます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の主治医、相談員と面会、経過情報を頂いたり、退院に向け利用者様を把握する等しています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医との連携を図りつつ「看取り」「終末期」を迎えるにあたりご家族様と話し合いを持ち方針を共有しています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に避難訓練を行って居ます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練など、災害を含め消防員にたいして色々な取り組みなど話しを聞いたり、実践もしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に対して言葉使い、対応の仕方に注意をして日々の業務を行って居ます。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけ傾聴を行いシグナルキャッチに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご利用者様一人一人に自由に過ごしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選べない方は職員介助を行い表情で汲み取って居ます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事形態は利用者様に合わせて提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日課チェック表を活用し、食事量、水分量を記入、把握しています。 また食事量が減っている方は主治医に報告しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分でできる方はご自分でされています。 難しい方は職員介助を行い、清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄介助にかんして、全介助の方もいらっしゃいますが立位だけでも取れる方はトイレにお誘いしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取や運動を含め個別に対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週二回基準に入浴しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様のペースで自由に休まれています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	月2回薬剤師の方がお薬を届けて説明と相談事をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お盆拭き、洗濯物畳などお手伝いして頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で外出出来てないです。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出の機会が無くできていません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様と電話が出来る用に支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアにはレクなどで撮った写真を飾りつけを行い季節感を出しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルなど配置を工夫し、お話出来るようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ、仏壇、座椅子など使用されている方もいます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	レクなどでは、職員見守りの元、ハサミなど使用し工作物の作成を行って居ます。		

# 目 標 達 成 計 画

事業所名 GHみんなの家横浜上白根

作成日 令和3年8月9日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を生かした取り組みについて	・書面にて報告を必ず行う。	・開催したら関係各所に書面で報告を行う。 ・ご家族様にも参加して頂ける様にイベントに合わせて行う。	6ヶ月
2					
3					
4					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。